

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ設立・活動支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				組織	担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口吉丸
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	生涯スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15041	一般	10	5	1	総合型地域スポーツクラブ設立・活動支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意の事業・義務的の事業		任意の事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)																															
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)																															
<p>【総合型地域スポーツクラブ創設支援補助金】 1 団体初年度250千円限度・次年度100千円限度</p> <p>【体育施設優先貸出及び使用料の免除】 体育施設の優先的貸出及び施設使用料を減免</p> <p>【安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会】 安足教育事務所管内のクラブ役員等が参集し研修会、情報交換会を行っている。</p> <p>【スポーツ教室の実施】 市スポーツ教室の一部を主管団体として担当</p> <p>【(仮称)総合型スポーツクラブフェスティバル(新規)】 レクリエーションフェスティバルと共催し各クラブをPRする。</p>																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設立準備中のクラブ数</td> <td>団体</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新規設立したクラブ数</td> <td>団体</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>											活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	設立準備中のクラブ数	団体	0	0	0	0	1	新規設立したクラブ数	団体	0	0	0	0	0
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																									
設立準備中のクラブ数	団体	0	0	0	0	1																									
新規設立したクラブ数	団体	0	0	0	0	0																									
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)																															
① 市民																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象指標</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> <td>123,182</td> <td>122,582</td> <td>121,522</td> <td>120,683</td> <td>120,018</td> </tr> <tr> <td>クラブ数</td> <td>数</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>											対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018	クラブ数	数	7	6	6	6	6
対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)																									
人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018																									
クラブ数	数	7	6	6	6	6																									
② クラブ																															
目的																															
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)																															
① 総合型地域スポーツクラブの設立時に補助金を交付し、設立・活動を支援																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内全クラブの会員数</td> <td>人</td> <td>2,907</td> <td>2,899</td> <td>3,130</td> <td>3,234</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>市内全クラブの指導者数</td> <td>人</td> <td>100</td> <td>118</td> <td>105</td> <td>99</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>											成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	市内全クラブの会員数	人	2,907	2,899	3,130	3,234	3,200	市内全クラブの指導者数	人	100	118	105	99	110
成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)																									
市内全クラブの会員数	人	2,907	2,899	3,130	3,234	3,200																									
市内全クラブの指導者数	人	100	118	105	99	110																									
② 地域住民の入会を促進させる。																															
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)																															
スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう。																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>上位成果指標</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合</td> <td>%</td> <td>40.7</td> <td>40.6</td> <td>38.5</td> <td>40.5</td> <td>45.0</td> </tr> </tbody> </table>											上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.7	40.6	38.5	40.5	45.0							
上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)																									
週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.7	40.6	38.5	40.5	45.0																									

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				補助金	0	補助金	0	補助金
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
	のべ業務時間	時間	20	25	25	25	25	
	人件費計(B)	千円	78	97	97	97	97	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	78	97	97	97	97	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ設立・活動支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	-----------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年度から文部科学省がスポーツ振興基本計画を立て市町村に設置を要請した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成19年度から国の財政難のため、総合型地域スポーツクラブの存在する市町村においては新たに設立するスポーツクラブへの国の補助金がなくなったが、平成21年度より、スポーツ振興じ助成事業の補助対象となった。市内では、平成21年2月までに6クラブが設立されたが、ここ数年は動きがない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	既存クラブに対する活動支援(補助)も検討してほしい(H24、2月予算審査、飯田議員)との要望が出されている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
事業統合・連携	市に頼るだけではない、自主性を持たせるよう支援する。具体的には、スポーツ教室や競技スポーツ強化事業の担い手となってもらうようにする。
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	総合型スポーツクラブは、市民が「いつでも」「だれでも」好きなスポーツを選んで活動ができる環境を提供することは、当然結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	設立にあたり準備金が必要であり、市民がスポーツ・レクリエーションを親しむことは市の施策に合致するため、結びつく。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市民に身近でスポーツを楽しむ環境を各地区を単位に実現することは、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	各クラブとも活動内容の充実やPRを図り会員数の増加に努めており、支援のあり方を検討する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 スポーツ教室開催事業、スポーツ少年団支援事業、体育協会支援事業
	⑥類似事務事業があり統合・連携できる・している *類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案	スポーツの普及を目的とするスポーツ教室等の事業を総合型地域スポーツクラブに任せることは有効である。また、地域でスポーツ活動を支えるのに、体育協会各支部、スポーツ少年団の存在は欠かせないことから、新たなクラブ設立に向け働きかけを進めていく必要がある。
効率性 評価	⑦事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	設立準備への支援補助金は、初年度250千円、次年度100千円は、会費収入もままならない中では、削減の余地はない。
	⑧受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	クラブは会費等の自主財源で運営するため、会員の会費等で賄われ4受益者負担は、適正である。また、市からの金銭的活動支援は無いかわりに、運動施設利用規則により利用料は免除しており、実質的な支援にもなっている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
市内を全域をカバーするだけのクラブが設立されたとき支援事業のみとなる。各クラブが持続的に定着、発展するためには支援事業は当面は欠かせない。収支のバランスが取れ、完全に自立したクラブ運営が図れたと判断できれば事業を終了できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	高齢化や活動が硬直しているため、体協各支部にスポーツクラブの設立するだけのパワーが感じられない。支部にスポーツ少年団等を絡めていくことや、クラブ事務を担う人材を育成していく必要がある。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>①③</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>②</td> <td>④</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①③		維持	②	④	×	低下		×	×
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上			①③																					
	維持	②	④	×																					
	低下		×	×																					
①スポーツクラブを設立させるために、体育協会及び各支部に働きかけ、支部単位もしくは支部の合従連衡による立ち上げ等を進めていく。 ②当初予算には計上せず必要な時に補正にて対応するものとし、補助事業として存続させる。 ③クラブの立ち上げ時は当然だが、立ち上げて数年経ち、新たな取り組みができるような連携事業(選手強化委託事業、スポーツ教室委託事業等)を実施していく。 ④活動支援として、スポーツ施設の優先利用(減免、事前予約など)について継続していくものとする。																									